

令和3年度 地理歴史科

大阪府立長尾高等学校

教科	地理歴史	科目	世界史B	単位数	5単位	年次	3年次
使用教科書	詳説 世界史 改訂版 (山川出版社)						
副教材等	最新世界史図説 タペストリー 十八訂版 (帝国書院) ゼミナール世界史 (浜島書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・「点」と「点」をつなぎ「線」で歴史を捉えよう。
- ・歴史的事象を丸暗記するのではなく、「なぜその事象が起きたのか」を考えよう。
- ・大きな流れと枠組みを日本の歴史と関連づけながら理解しよう。

2 学習の到達目標

- ・世界の古代からの歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付ける。
- ・現代の諸課題に着目して考察することによって、歴史的思考力を培う。
- ・国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

学習評価 (評価基準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 資料活用 of 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	世界の歴史に対する関心を高め、文化の多様性と現代社会の特質、現在の世界の諸課題について主体的に追究している。	世界各地の諸事情について、地理的条件や日本史とも関連付けながら考察している。世界各地、各時代の諸事象の特徴を、他の地域や時代の諸事情と比較して適切に考察している。	収集した世界史についての諸資料を、客観性や公正さにも配慮尾した上で適切に取捨選択して活用している。	政治、経済、社会、文化、生活などの様々な視点から世界史の諸事情を理解し、その基本的知識を身につけている。
評 価 方 法	ノートプリント レポート	定期考査 ノートプリント	定期考査 ノートプリント	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
		A	B	C	d		
1 学期	先史の世界 オリエンと地中海世界 アジア・アメリカの古代文明 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 イスラーム世界の形成と発展	○			○	a: 古代国家が形成され、矛盾を来たし、崩壊する過程を多角的な観点から理解しようとしている b: 歴史的事象について、経済、文化、国際情勢等と関連付けて、多角的、実証的に考察し、国、階級、思想等様々な立場があることをふまえて公正、実証的に表現している c: 必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている d: 古代国家が形成され、矛盾を来たし、崩壊する過程と、それぞれの時代の特徴を理解している	定期考査、ノートプリント
2 学期	ヨーロッパ世界の形成と発展 諸地域世界の交流 アジア諸地域の繁栄 近代ヨーロッパの成立 ヨーロッパの集権国家体制の展開 欧米における近代国民国家	○	○	○	○	a: 中世世界の崩壊する過程や近代国家の成立過程を多角的な観点から理解しようとしている b: 歴史的事象について、経済、文化、国際情勢等と関連付けて、多角的、実証的に考察し、国、階級、思想等様々な立場があることをふまえて公正、実証的に表現している c: 必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている d: 中世世界の崩壊する過程や近代国家の成立過程と、それぞれの時代の特徴を理解する	定期考査、夏レポートノートプリント

3 学 期	アジア諸地域の動揺 帝国主義とアジアの民族運動 二つの世界大戦 冷戦と第三世界の自立 現代の世界	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:現代の世界情勢に関心をもち、 それらの成立過程とジレンマを多 角的な観点から理解しようとして いる b:現代世界の成立過程を、経済、 文化、国際情勢等と関連付けて、 多角的、実証的に考察し、国、階 級、思想等様々な立場があること をふまえて公正、実証的に表現し ている c: 必要な諸資料を収集し、有用な 情報を選択して、読み取ったり図 表などにまとめたりしている d:現代世界の成立過程をしっかりと 理解している	定期考査 ノート プリント提出
-------------	--	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---	-----------------------

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用 of 技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。